2026年度　戸板女子短期大学一般選抜「英語」　出題意図・方針

2026年度一般選抜「英語」の問題は、1～6までの大問6問の構成となっていました。基礎的な文法や語彙、表現を身につけていれば、対応することができる問題となっていました。会話文やメール文も出題されましたが、意味の流れを意識して文章読解力を身に付けておくと容易に対応できるでしょう。長文読解問題は例年さまざまなトピックに関して出題されることが多いですが、普段から代名詞が指すものについて考えながら読む習慣をつけると良いでしょう。長文で使用される構文はさほどレベルの高いものではありませんので、正確に構文を読み取る練習も継続するようにしてください。

1.　【大問1】短文の語句空所補充

大問1は「短文の語句空所補充」でした。

例）He always keeps a few dictionaries on his bookshelf so that he can (　) them at any time.

(a) consult　(b) draw　(c) refer　(d) look

空所付きの英文と選択肢が4つ提示され、適切な選択肢を1つ選ぶ問題が出題されました。英検準2級程度の文法知識と単語力が問われる問題となっていました。

2.　【大問2】会話文の文空所補充

大問2は「会話文の文空所補充」が出題されました。AとBの会話文の空所に適切な文を選択肢から選ぶ問題でした。

3.　【大問3・4】英単語に関する問題

大問3・4は「英単語」に関する問題が出題されます。英検準2級程度のレベルの単語のアクセント・スペルや意味を確認しておくことが必要となりました。

4.　【大問5～6】英語長文読解

大問4と5は300～400語程度の英語長文を読み解く問題が出題されました。ある身近なテーマについて書かれた文章、メール文などが題材とされ、具体的には以下のような設問が出題される傾向でした。

- 語句空所補充問題
- 英語長文の内容一致問題
- 代名詞の内容を問う問題
- 英文和訳問題
- 語彙の意味を問う問題